

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称:

製品名称: シクロヘキサノール

製品番号(SDS NO): D001870-1

供給者情報詳細

供給者: 国産化学株式会社

住所: 東京都中央区日本橋本町3丁目1番3号

担当部署: 品質保証部

電話番号: 045-328-1715

FAX: 045-328-1716

e-mail address: cs@kokusan-chem.co.jp

緊急連絡先: 国産化学株式会社 横浜事業所 神奈川県横浜市西区北幸2-8-29

2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素

GHS分類

健康に対する有害性

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性: 区分 1

生殖毒性: 区分 2

特定標的臓器毒性(単回ばく露): 区分 3(気道刺激性)

特定標的臓器毒性(単回ばく露): 区分 3(麻酔作用)

特定標的臓器毒性(反復ばく露): 区分 1(自律神経系)

特定標的臓器毒性(反復ばく露): 区分 2(肝臓、腎臓)

(注)記載なきGHS分類区分: 該当せず/分類対象外/区分外/分類できない

GHSラベル要素



注意喚起語: 危険

危険有害性情報

重篤な眼の損傷

生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い

呼吸器への刺激のおそれ

眠気又はめまいのおそれ

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害

注意書き

安全対策

使用前に取扱い説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。

屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

保護眼鏡/保護面を着用すること。

指定された個人用保護具を使用すること。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。
 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。
 直ちに医師に連絡すること。
 気分が悪いときは医師に連絡すること。
 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

貯蔵

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
 施錠して保管すること。

廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別：

化学物質

化学的特定名：シクロヘキサノール

慣用名、別名：シクロヘキシルアルコール、ヘキサリン

| 成分名 | 含有量(%) | CAS No. | 化審法番号 | 化学式 |
|-----------|--------|----------|--------|--------|
| シクロヘキサノール | 98 ≤ | 108-93-0 | 3-2318 | C6H12O |

危険有害成分

安衛法「表示すべき有害物」該当成分

シクロヘキサノール

安衛法「通知すべき有害物」該当成分

シクロヘキサノール

4. 応急措置

応急措置の記述

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

急性症状及び遅延性症状の最も重要な徴候症状

吸入：咳、めまい、嗜眠、頭痛、吐き気、咽頭痛。

皮膚：皮膚の乾燥、発赤。

眼：発赤、痛み。

経口摂取：腹痛、下痢。

応急措置をする者の保護

救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

火災の場合は粉末、炭酸ガスを使用すること。

特有の危険有害性

68℃以上では、蒸気/空気の爆発性混合気体を生じることがある。

消火を行う者への勧告

特有の消火方法

関係者以外は安全な場所に退去させる。

霧状水により容器を冷却する。

消火を行う者の保護

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外は近づけない。

回収が終わるまで十分な換気を行う。

適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項

上水源、河川、湖沼、海洋、地下水に漏洩しないようにする。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

掃き集めて、容器に回収する。

あるいは漏れた液やこぼれた液を密閉式の容器にできる限り集める。

二次災害の防止策

漏出物を回収すること。

汚染箇所を水で洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

(火災・爆発の防止)

熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。ー禁煙。

防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/その他機器を使用すること。

局所排気、全体換気

排気/換気設備を設ける。

注意事項

皮膚に触れないようにする。

眼に入らないようにする。

安全取扱注意事項

使用前に取扱説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

保護眼鏡/保護面を着用すること。

指定された個人用保護具を使用すること。

取扱い後は手、汚染箇所をよく洗う。

取扱中は飲食、喫煙してはならない。

配合禁忌等、安全な保管条件

適切な保管条件

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

涼しいところに置き、日光から遮断すること。
施錠して保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

管理濃度

作業環境評価基準(1995) \leq 25 ppm

許容濃度

日本産衛学会(1970) 25ppm; 102mg/m³

ACGIH(1979) TWA: 50ppm (眼刺激; 中枢神経系損傷)

注釈(症状、摂取経路など)

皮膚吸収

ばく露防止

設備対策

適切な換気のある場所で取扱う。

排気/換気設備を設ける。

洗眼設備を設ける。

手洗い/洗顔設備を設ける。

保護具

呼吸用保護具

呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具

保護手袋を着用する。

眼の保護具

側面シールド付安全メガネまたは化学品用ゴーグルを着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。

衛生対策

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

取扱い後はよく手を洗う。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理的状态

形状: 吸湿性液体また結晶

色: 無色(液体)または白色(結晶)

臭い: 特有臭

物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲

初留点/沸点: 161°C

融点/凝固点: 23°C

引火点: (シクロヘキサノール)(C.C.) 68°C

自然発火温度: 300°C

爆発特性: 引火又は爆発範囲

下限: 2.4 vol %

上限: 12 vol %

蒸気圧: 0.13 kPa (20°C)

相対蒸気密度(空気=1): 3.5

20°Cでの蒸気/空気混合気体の相対密度(空気=1): 1

比重/密度: 0.96

溶解度

水に対する溶解度 : 4 g/100 ml (20 C)

溶媒に対する溶解度 : 多くの有機溶媒と混和する。

n-オクタノール/水分配係数 : log Pow1.2

10. 安定性及び反応性

化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

危険有害反応可能性

酸化剤と接触すると反応することがある。

避けるべき条件

日光、熱、混触危険物質との接触。

混触危険物質

酸化性物質

危険有害な分解生成物

炭素酸化物

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性(経口)

[日本公表根拠データ]

ラットLD50値 2.06g/kg (ACGIH 2001)に基づく。

急性毒性(経皮)

[日本公表根拠データ]

ウサギLDLo値 (IUCLID (2000); 12400-22700mg/kg)に基づき、LD50値は5000mg/kg以上と推測される。区分外。

急性毒性(吸入)

[日本公表根拠データ]

ラットLC50値 >878ppm (IUCLID (2000))は、飽和蒸気圧(1049~1293ppm)から蒸気による試験と考えられるが、LC50値が不特定のため、分類できないとした。

労働基準法: 疾病化学物質

シクロヘキサノール

局所効果

皮膚腐食性・刺激性

[日本公表根拠データ]

ACGIH(2001)およびPATTY(5th, 2001)での「only slightly irritant to the rabbit skin」に基づき、区分3とした。

眼に対する重篤な損傷・刺激性

[日本公表根拠データ]

動物試験4匹中4匹で、24,48,72時間後のCorneal opacityの評点がそれぞれ3であり、21日後に1匹が障害から回復していない(ECETOC TR48(2)(1998))ので区分1とした。

感作性

皮膚感作性

[日本公表根拠データ]

PATTY(5th,2001)に皮膚感作性試験のヒトパッチ試験結果が出ているが、詳細不明のため分類できない。

生殖細胞変異原性

[日本公表根拠データ]

体細胞in vivo変異原性試験(小核試験)での陰性の結果に基づいて技術指針に従い区分外とした。

発がん性データなし

生殖毒性

[日本公表根拠データ]

マウス試験で後世代への悪影響(仔の死亡率増加や成長阻害)がみられたが、親動物への影響が不明であること(ACGIH(2001))に基づいて区分2とした。

催奇形性データなし

短期ばく露による即時影響、長期ばく露による遅延/慢性影響

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

[区分3(気道刺激性)]

[日本公表根拠データ]

(気道刺激性(PATTY(5th, 2001))及び麻酔作用(ACGIH, 2001)がそれぞれみられるので、区分3(気道刺激性、麻酔作用)とした。

[区分3(麻酔作用)]

[日本公表根拠データ]

気道刺激性(PATTY(5th, 2001))及び麻酔作用(ACGIH, 2001)がそれぞれみられるので、区分3(気道刺激性、麻酔作用)とした。

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

[区分1]

[日本公表根拠データ]

ヒトで自律神経系の不調がみられた(ACGIH, 2001)ことにより区分1(自律神経系)とした。

[区分2]

[日本公表根拠データ]

区分2のガイダンス値相当の用量にて軽度の肝臓、腎臓変性がみられることから区分2(肝臓、腎臓)とした。

吸引性呼吸器有害性データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生毒性

水生毒性(急性)成分データ

[日本公表根拠データ]

魚類(ファットヘッドミノ)の96時間LC50=704mg/L(ECETOC TR91, 2003)から、区分外とした。

水生毒性(長期間)成分データ

[日本公表根拠データ]

難水溶性でなく(水溶解度=42000mg/L(PHYSROP Database, 2005))、急性毒性が低いことから、区分外とした。

水溶解度

4.2 g/100 ml (PHYSROP Database, 2005)

残留性・分解性データなし

生体蓄積性

log Pow=1.2 (ICSC, 1998)

土壌中の移動性データなし

オゾン層破壊物質データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

廃棄の前に可能な限り無害化、安定化及び中和などの処理を行なって危険有害性のレベルを低い状態にする。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合には、そこに委託して処理する。

汚染容器及び包装

容器は清浄して関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去する事。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号に該当しない

バルク輸送におけるMARPOL条約附属書II 改訂有害液体物質及びIBCコード

有害液体物質(Y類)

シクロヘキサノール

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

有機則 第2種有機溶剤等

シクロヘキサノール

名称表示危険/有害物(令18条)

シクロヘキサノール

名称通知危険/有害物(第57条の2、令第18条の2別表9)

シクロヘキサノール

化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。

消防法

第4類 引火性液体第2石油類非水溶性液体 危険等級 III

消防法に該当しない。

化審法に該当しない。

大気汚染防止法

揮発性有機化合物(VOC)

シクロヘキサノール

適用法規情報

海洋汚染防止法:有害液体物質(Y類物質)(施行令別表第1)

特定有害廃棄物輸出入規制法(バーゼル法):廃棄物の有害成分・法第2条第1項第1号イに規定するもの(平10三省告示1号)

道路法:車両の通行の制限(施行令第19条の13、(独)日本高速道路保有・債務返済機構公示第12号・別表第2)

輸入貿易管理令第4条第1項第2号輸入承認品目「2の2号承認」

輸出貿易管理令別表第1の16の項

輸出貿易管理令別表第2(輸出の承認)

労働基準法:疾病化学物質(法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第4号1)

16. その他の情報

参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (5th ed., 2013), UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 18th edit., 2013 UN

Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECNO6182012)

2012 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK(US DOT)

2015 TLVs and BEIs. (ACGIH)

<http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php>

JIS Z 7253 (2012年)

JIS Z 7252 (2014年)

2015 許容濃度等の勧告(日本産業衛生学会)

Supplier's data/information

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改

訂される事があります。また、注意事項は通常の実施を前提としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データです。